

富 山 県

富 山 県 退 職 校 長 会

結成 昭和 40 年 5 月 16 日

1 本会の歩み

令和 7 年に結成 60 周年を迎える本会は、会員相互の親睦と福祉の増進を図ることを目的として昭和 40 年に「校長旧友会」の名称で会員 153 名により結成された。昭和 43 年に名称を「富山県退職校長会」と改め、今日まで、会員の親睦・福祉に関する活動、県教育委員会・現職校長会等との連携、生涯学習社会への寄与、学校支援活動等に努めてきた。一時は 1,600 名近くの会員を擁していたが、学校統廃合等による新入会員の減少や物故会員の増加等により年々会員数が減少し、現在は 1,200 名程度にとどまっている。

2 会員の連帯感の醸成と組織の活性化

本会では、12 の地区から 94 名の理事（令和 6 年 11 月 1 日現在）を選出して、他の地区や事務局との連携が密になるよう図っている。また、理事の代表で 3 つの委員会を組織し、会の活性化に資するよう活動している。

○会報委員会

会報「高志路」を年 2 回発行しており、令和 6 年 12 月号で第 130 号となる。会員相互の啓発・親睦・情報交換を図るため、「提言」「随想」「生き生き人生」「新しきあゆみ」の四つの内容で会員の思いや意見、現況等を紹介している。また、「誌上サロン」コーナーに会員の絵画や書、短歌や川柳等、趣味の作品を掲載している。さらに、県教育委員会との懇談内容を掲載するなど、最新の教育活動に関する情報を知らせている。この「高志路」を現職校長にも配付することで、本会の活動内容を理解していただくようにしている。

○生涯学習委員会

会員個々がより豊かな人生を歩むうえでの参考になるよう、各地域や職域において活躍されている会員の活動を「生涯学習活動事例集『志を生きる』』という冊子にして紹介し、3 年毎に発行している。令和 7 年 6 月号で 12 冊目となる。

○教育課題委員会

毎年 6 月に現職校長会と教育懇談会を実施し、今日的な教育課題への理解と情報収集に努めている。また、その懇談内容を基に「富山県退職校長会の関心事項」をまとめ、8 月に県教育委員会との懇談会を開催している。教育長、教育次長、室長、各課の課長、主幹等に出席していただき、「富山県退職校長会の関心事項」に関連させながら最新の教育課題などについてじっくりと語り合う機会としている。



【県教育委員会との教育懇談会】

3 課題

- ・新入会員数減への対応
- ・県内各地区退職校長会の活性化
- ・会計支出の削減（会員数減による会費収入の減少、物価高等による諸経費の高騰など）